

1年生の授業「地域と暮らし」のフィールドワーク

R6年5月9日（木）

「地域と暮らし」という授業の一環で、1年生25名が加賀市内6地区にわかれ、地域に住まう環境や暮らしぶりについて住民から聞き取りをしました。大聖寺地区、山代地区、片山津地区、橋立地区、作見・動橋地区、山中地区に、それぞれ公共のバスを利用して移動し、町内を歩きました。入学間もないことから、加賀市内を知るよい機会にもなりました。

作見・動橋地区の丸八製茶場では、地元の祭りを通して地域の活性化を図っていることや、お茶を贈り物とする文化があることを知りました。その他に、作見・動橋地区には歴史のある酒蔵があることを初めて知り驚きました。



製茶工場の中も
案内していただきました



また大聖寺地区では、学校近隣の高齢者夫婦宅で聞き取りをしました。近所でも高齢者だけの世帯が増えたり空き家になっているところもあったりして、町の賑わいが少なくだんだんとさみしい思いをしていることを話してくださいました。



今回訪れたどの町も スーパーや病院に行くには車が必要で、隣近所の人と協力して生活していることがわかりました。しかしながら、生活は不便でも住み慣れたのどかな地区で暮らすことを大切にしていきたいとのことでした。